

～デジタルスキルを活用して、ビジネスの現場で課題解決・価値創造できる会社へ～

DX人材育成プログラム「キリン DX 道場」を7月から開校

～「白帯」「黒帯」「師範」の3コースを展開し、2024年までに1,500人のDX人材を育成～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、DX人材の育成に向けたデジタルリテラシー及びスキル向上のプログラム「キリン DX 道場」を、キリングループ従業員を対象に7月から開始します。

キリングループは、長期経営構想「キリングループ・ビジョン 2027（KV2027）」の達成に向けて「価値創造を加速する ICT」の実現を掲げ、AIを活用した生産現場での効率化をはじめとして、さまざまな取り組みを進めてきました。その一方で、デジタルスキルは特定のデジタル・ICT部門に偏り、営業・生産・物流などの現場社員に定着していない状況にありました。

今回の「キリン DX 道場」は、現場で働く従業員が、当社内のデジタル・ICT部門、ならびにパートナー企業と作成したキリングループのオリジナルカリキュラムです。デジタルスキルを主体的に学び、身につけ、実際の事業活動において課題解決・価値創造に結び付けることを目的に7月から開校します。現場の課題に合わせてデジタルを活用できる人材を増やすことで、今までの業務プロセスをよりスピーディーに変革することができます。

コースはレベル別に「白帯」「黒帯」「師範」の3段階[※]で設定し、まずは「白帯」「黒帯」の2コースでスタートします。各コース、オンラインライブ講座を2～3講座受講の後、認定試験を合格することで完了となります。講義内容は外部デジタルトレンドに合わせて定期的に更新し、受講者にも継続的に「キリン DX 道場」を受講できる仕組みを構築することで、デジタルスキルの定着を図ります。

※ 「黒帯」「師範」は、「白帯」を取得した後に受講することを想定

今回の募集では150人のDX人材育成を計画していましたが、応募総数は750人を超え、想定以上の5倍以上となりました。「DX 道場」は、今後も継続的に開催して募集を行い、2024年までにノーコードアプリやBIツールなどのデジタルテクノロジーを活用した、業務プロセスの変革による生産性向上・新たな価値創造を推進できるDX人材を合計1,500人まで拡大します。

■ DX 道場コース内容

【白帯】(初級)

デジタル活用基礎講座・データサイエンス基礎講座を開講する。キリングループにおけるデジタル活用の必要性を認識し、デジタルを活用した解決策を考えられるようになることや、基礎的なデータ分析ができるようになることを目指す。

【黒帯】(中級)

ダッシュボード活用講座、AI・機械学習活用講座、ノーコードアプリ活用講座を開講する。デジタル部門との連携により、デジタルテクノロジーを活用した業務効率化ができるようになることを目指す。

【師範】(上級)

テーマ別(営業・SCM など)に講座を開講する。担当領域における高いデジタルリテラシーを身につけ、全社・部署レベルのDX推進を先導できるようになることを目指す。



キリングループはDX人材の育成を進め、さまざまな分野でDXやICTの取り組みを加速させることで新たな価値やイノベーションの創出を目指します。